

地域の安心のために



公立相馬総合病院

病院案内



SOMA GENERAL HOSPITAL

公立相馬総合病院

〒976-0011 福島県相馬市新沼字坪ヶ迫142
TEL:0244-36-5101(代表) FAX:0244-35-5819



院長挨拶



公立相馬総合病院 院長 八巻 英郎

昭和45年設立以来、長年間引き継がれてきた伝統ある公立相馬総合病院の院長に就任し、責任の重さに身の引き締まる思いを強くしております。微力ではございますが地域医療の充実と病院の発展に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

当院はこれまでも歴代院長のもと、「人間愛(思いやり)の精神で医療活動にあたり、地域社会の保健・福祉の充実に貢献しよう」という理念を掲げ、職員一丸となりこの理念の実現に邁進してまいりました。これからもこれまで築いてきた成果を継承するとともに、地域の皆様の命と健康を守る公的中核医療機関としての使命と責任を果たしていかなければなりません。そのためには、常に職員一人一人が地域医療を支えるプロフェッショナルとしての自覚と誇りを待ち、「患者様のために何をするのか、何をすべきなのか」を考え職務を果たしてまいります。

今後も東北大学、福島県立医科大学などの高次医療機関や地域の各医療機関との連携をさらに強化し、地域医療の中心として安心、安全かつより高度な医療を提供し、皆様に信頼していただける病院であるよう努力してまいります。どうぞ引き続き公立相馬総合病院にご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。



序 章

充実した地域の中核病院を目指して



〈病院の理念〉

「人間愛(思いやり)の精神で医療活動にあたり、地域社会の保健・福祉の充実に貢献しよう」

〈私たちは患者さんに対して〉

1. 適切で安全な医療を提供します
2. 良好な医療環境を提供します
3. 対話のある医療を提供します

〈医療現場に携わる職員として〉

1. 組織人として、プロとしての自覚をもちます
2. 良好な人間関係を維持します
3. 常に最新の医療を理解できるよう自己育成に努めます

■公立相馬総合病院の沿革

昭和	45年10月 1日	相馬市、新地町による一部事務組合・相馬方部衛生組合により、「公立相馬病院」設立 診療開始 許可病床数 120床（一般81床、結核19床、伝染20床）診療科目（4診療科）内科、外科、産婦人科、眼科
	49年11月 1日	2病棟増築工事竣工 病床数192床（一般162床、結核10床、伝染20床）
	54年 3月20日	理学療法室、イメージ室、事務室増築
	55年 8月12日	伝染病舎20床廃止 病床数172床（一般162床 結核10床）
	57年 4月 1日	3病棟（小児科）改造工事竣工 病床数192床（一般182床 結核10床）診療科目（8診療科）内科、外科、産婦人科、眼科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、小児科
	59年 5月 8日	CTスキャナ導入診療開始
	63年 8月 1日	「公立相馬総合病院」診療開始（5月30日総合病院名称使用承認許可）
平成	4年11月11日	3病棟増築工事竣工
	5年 6月22日	磁気共鳴断層撮影装置（MRI）導入
	6年 1月19日	増改築工事竣工 8診療科 病床数 250床（一般240床 結核10床）
	9年10月 1日	訪問看護ステーション開始
	13年 4月 1日	5病棟から4病棟体制へ変更（一般240床から211床へ） 医薬分業開始（院外処方箋発行）
	14年 9月 4日	旧人工透析室(2病棟2階)改修により一般226床
	18年 5月 1日	結核病床（10床）廃止
	23年 3月11日	東日本大震災（M9.0）震度6弱
	24年 9月 7日	臨床研修病院（基幹型）の指定を受ける
	26年 4月 1日	臨床研修医（第1期生）研修開始
	27年 2月27日	新第1病棟竣工
	28年 1月 1日	4病棟体制 20診療科 病床数 一般230床
	28年 3月28日	電子カルテシステム稼働（富士通）
	30年 4月 1日	院内保育所「なないろ保育園」開所（定員19名）
	30年10月 1日	許可病床198床（一般198床）に変更
令和	元年 9月 1日	地域包括ケア病床 8床（2病棟3階）導入 許可病床198床（一般 190床、地域包括ケア 8床）に変更
	2年 1月 1日	4病棟から3病棟体制へ変更（2病棟3階を3病棟3階に統合） 休床37床 新規3床 計164床（一般156床、地域包括ケア8床）に変更
	3年 2月13日	福島県沖地震（M7.3）震度6強 クーリングタワー（冷温水発生機）損傷
	3年 9月27日	磁気共鳴断層撮影装置（MRI）更新（シーメンスヘルスケア製1.5テスラ）
	4年 3月16日	福島県沖地震（M7.4）震度6強 建物、給水設備・電気設備等損傷
	5年11月13日	電子カルテシステム更新（富士通）
	7年 4月 1日	そうま在宅医療センター設置（地域医療部新設・3部署編成）



■施設・診療概要

1 名称	公立相馬総合病院
2 組織・役職	相馬方部衛生組合（相馬市、新地町で構成する一部事務組合） 管理者 相馬市長、副管理者 新地町長
3 病院職員 （正・再任用） 会計年度任用職員	医師 23名（研修医6名）、医療技術職員 38名、看護職員 127名、事務職員 20名 医師2名、医療技術職員2名、看護職員20名、看護補助者11名、医師事務補助者2名、事務職員12名
4 標榜科	内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、腎臓内科、糖尿病内科、外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、眼科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科
5 病床数	一般病床 198床（急性期156床、回復期8床、休床34床） その他、CCU、ICU、NICU施設を保有しております。
6 延べ患者数	入院38,388人、外来93,318人（令和6年度） 〈2025.6.1現在〉

■機関指定など

- 保険医療機関
- 労災保険指定病院
- 生活保護法指定医療機関
- 身体障害者福祉法指定医
- 指定養育医療機関
- 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
- 肝疾患専門医療機関
- 被爆者一般疾病医療取扱病院
- 救急告示病院
- 臨床研修指定病院
- 戦傷病者特別援護法指定医療機関
- 特定疾患治療研究事業委託医療機関
- 周産期医療協力施設
- 肝疾患専門医療機関
- 結核予防法指定医療機関
- 難病指定医療機関
- 指定小児慢性特定疾病医療機関
- 特定疾患治療研究事業委託医療機関

■施設認定

- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本循環器学会専門医研修施設
- 日本消化器病学会関連施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本周産期新生児医学会専門医研修施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- 日本肝臓学会特別連携施設
- 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設
- National Clinical Database施設



■施設概要



所在地 福島県相馬市新沼字坪ヶ迫142
敷地面積 19,196.78㎡

◇建物概要

全体建築面積 4,738.79㎡
全体延べ床面積 14,604.14㎡

▽ 第1病棟	鉄筋コンクリート造	地下1階地上3階建て	床面積	6,222.03㎡
▽ 第2病棟	鉄筋コンクリート造	地上4階建て塔屋付	床面積	3,246.92㎡
▽ 第3病棟	鉄筋コンクリート造	地下1階地上3階建て塔屋付	床面積	4,571.40㎡
▽ X線棟	鉄筋コンクリート造	平屋建て	床面積	563.79㎡

◇駐車場・駐輪場

駐車台数 263台
駐輪台数 20台



◇院内保育所（なないろ保育園）

敷地面積 1,456.96㎡
建築面積 177.85㎡
延べ床面積 170.40㎡
構造 木造 平屋建て



■ 主な医療機器・設備



▽ 放射線部門

全身用X線CT診断装置 [GE社製 Discovery CT 750HD]



全身用MRI装置 [SIEMENS社製 1.5T]



据置型デジタル式乳房用X線診断装置 [GE社製 間接変換方式]



移動型ポータブル撮影装置 [ケアストリーム社製 Revolution]



据置型デジタル式循環器用(多目的)血管撮影装置 [PHILIPS社製 バイプレーンシステム]





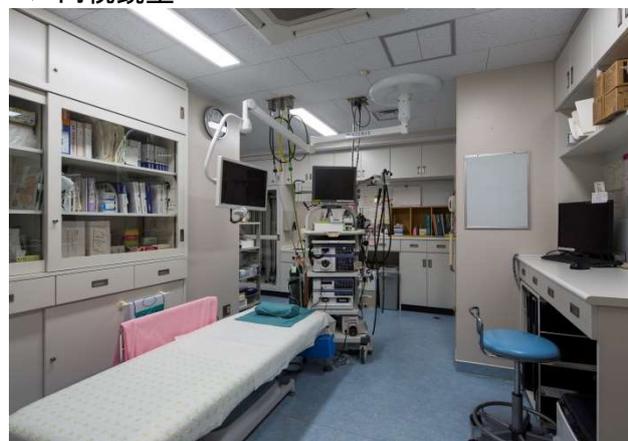
▽ 人工透析室
人工腎臓透析監視装置 17台[日機装社製]



▽手術室



▽ 内視鏡室



▽リハビリテーション



▽ 化学療法室



▽小児プレイルーム



▽ 感染待合室

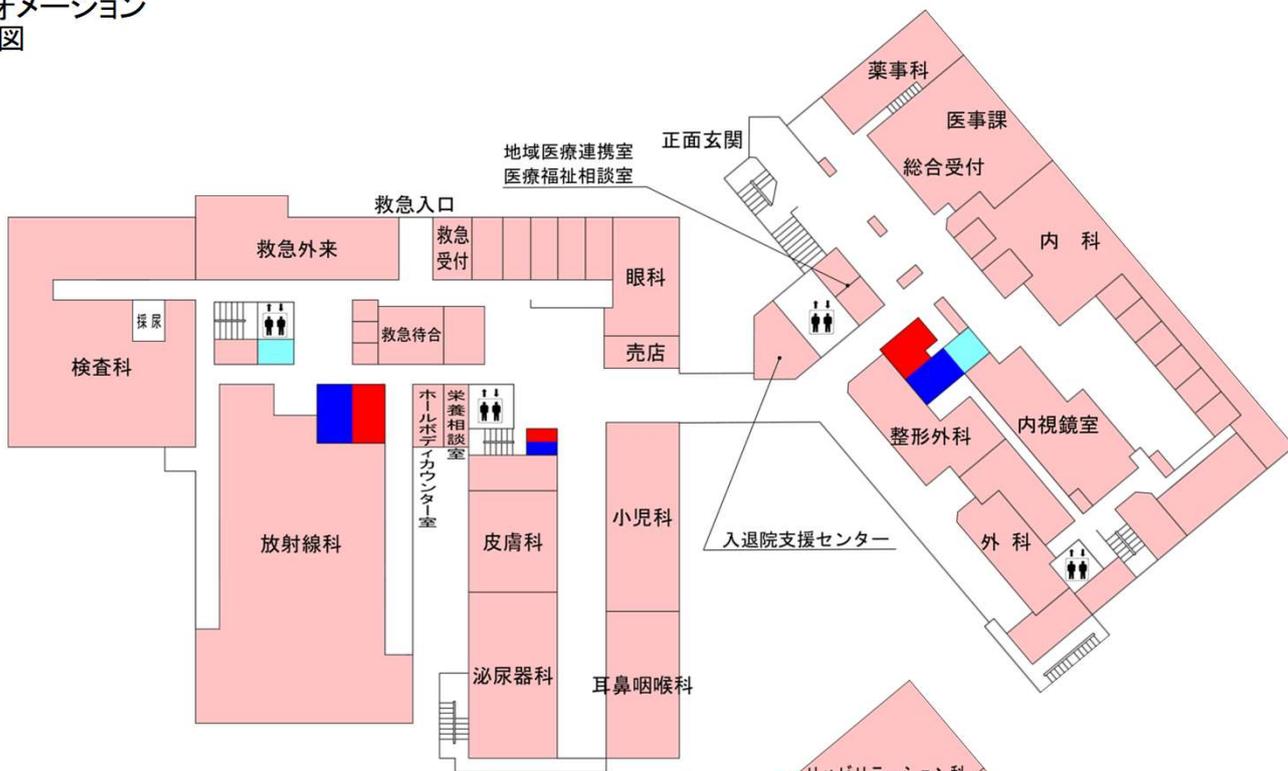


[そのほかの主な医療機器]

- | | |
|------|-------------------------|
| 内科 | 内視鏡ビデオシステム[オリンパス社製] |
| 検査科 | 骨密度測定装置 [GE社製] |
| 放射線科 | 循環器用超音波診断装置 [フィリップス] |
| 手術室 | ホルミウムヤグレーザーシステム[ホストン社製] |

■インフォメーション
各階平面図

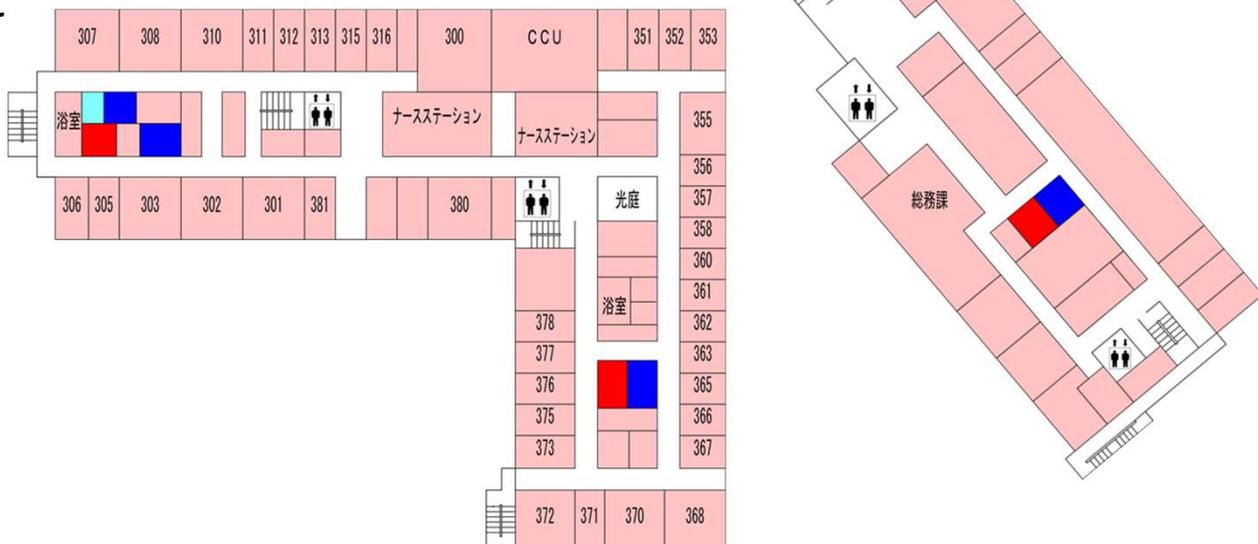
1F

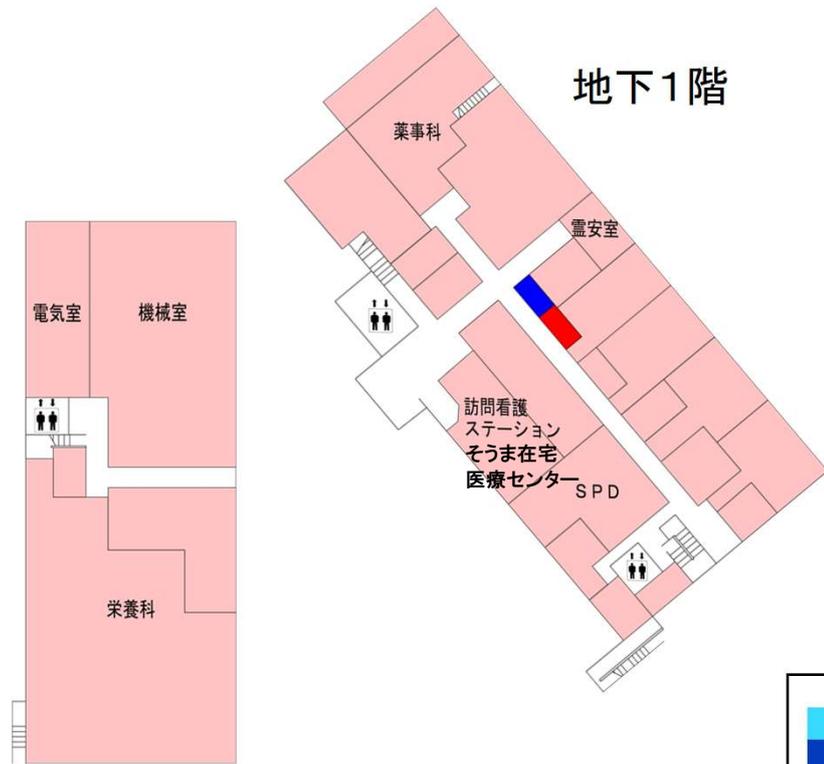


2F



3F

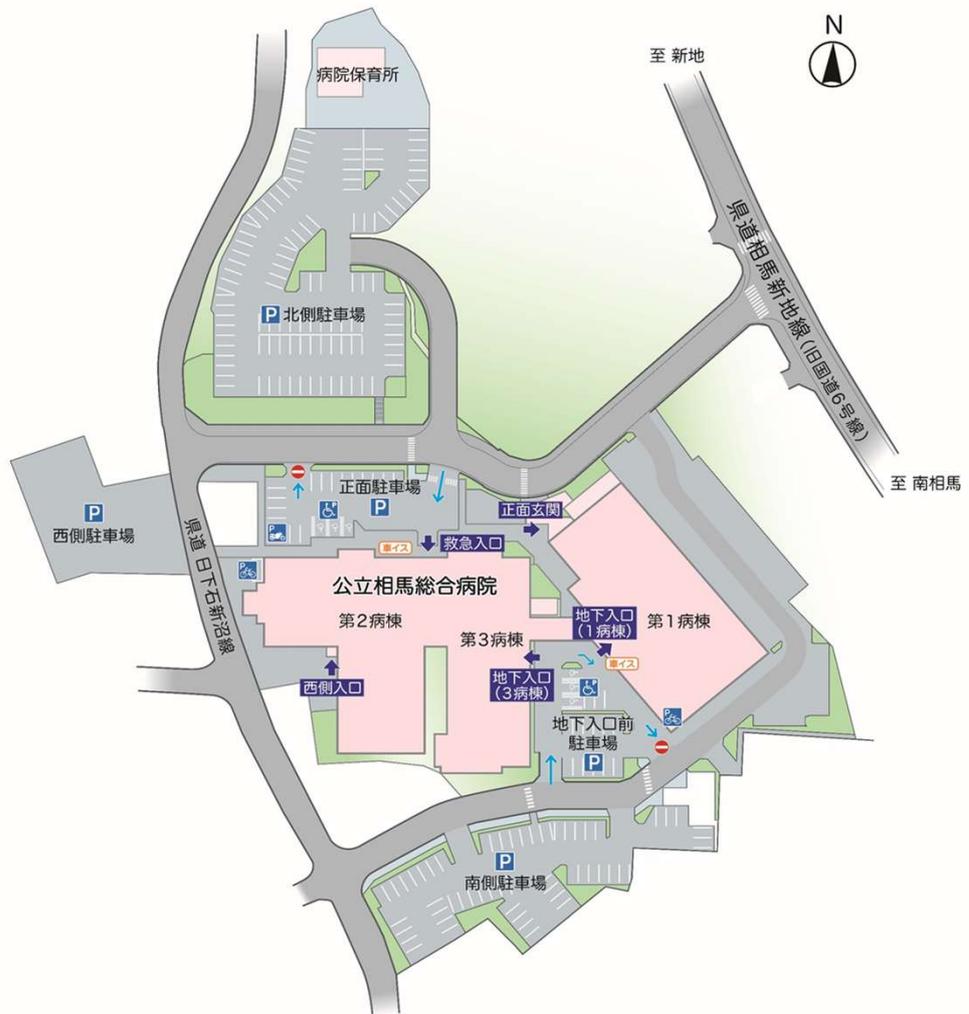




地下1階

■	多目的トイレ
■	男子トイレ
■	女子トイレ

病院敷地配置図



地域医療部紹介 令和7年4月1日新設



地域医療部

地域医療連携室

看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員で運営しています。業務内容は、

- ・紹介患者に係る予約、受付及び案内に関すること
- ・紹介患者に係る診療情報提供書その他各種記録の整理及び保管に関すること
- ・患者の転院に関すること
- ・その他地域医療連携に関すること

など、他の医療機関・福祉施設との医療情報の共有に関することです。
患者さまが病院に受診しやすくなるようサポートさせていただきますので、お気軽にご相談ください。



入退院支援センター

看護師と事務職員で運営しています。業務内容は、

- ・入院手続きに関すること
- ・退院支援に関すること
- ・その他入退院支援及び地域医療に関すること

など、入退院支援に関することです。
現在、新型コロナウイルス感染症対策で、面会制限が行われています。以前のように自由な面会ができないため、患者さんやご家族は大変不安に思っていると思います。退院後の療養生活が不安なく過ごせるよう、病棟看護師や関連部署とのカンファレンスを行い、退院後の生活につながるように外来、病棟、ケアマネージャー、訪問看護師など関係部署と連携し、地域医療の充実に取り組んでいます。



そうま在宅医療センター

加速化する地域の高齢化に伴い需要の増加が見込まれる在宅医療の分野を担当する部門として令和7年4月1日に設立されました。

- ・訪問診療に関すること
 - ・在宅医療に係る相談・調整に関すること
 - ・その他在宅医療及び地域医療に関すること
- など、在宅医療に関する相談窓口になります。

ご自宅での生活を安心して過ごせるよう私たちがサポートさせていただきますので、お困りの方は気軽にご相談ください。

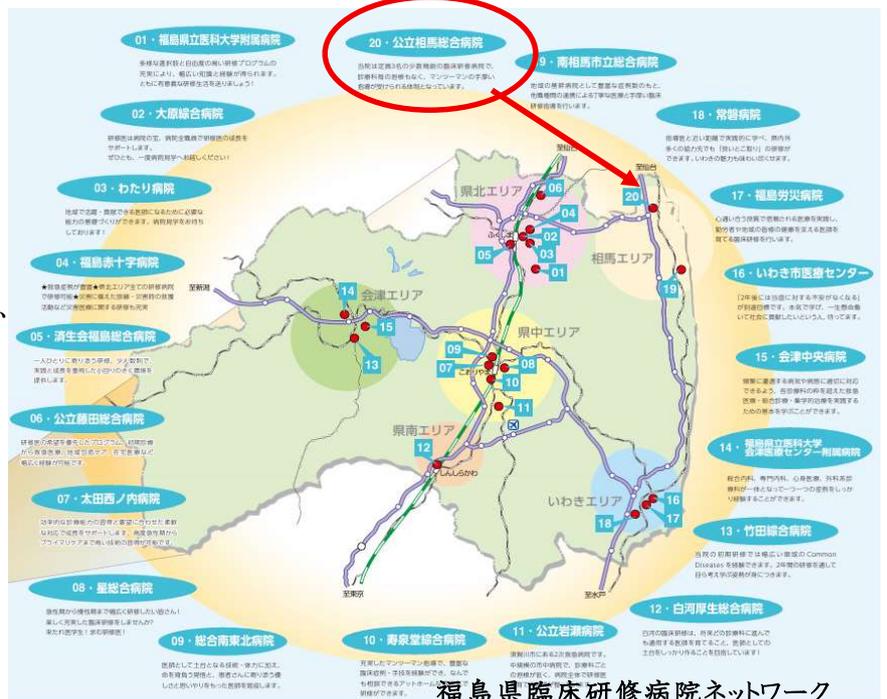


臨床研修指定病院

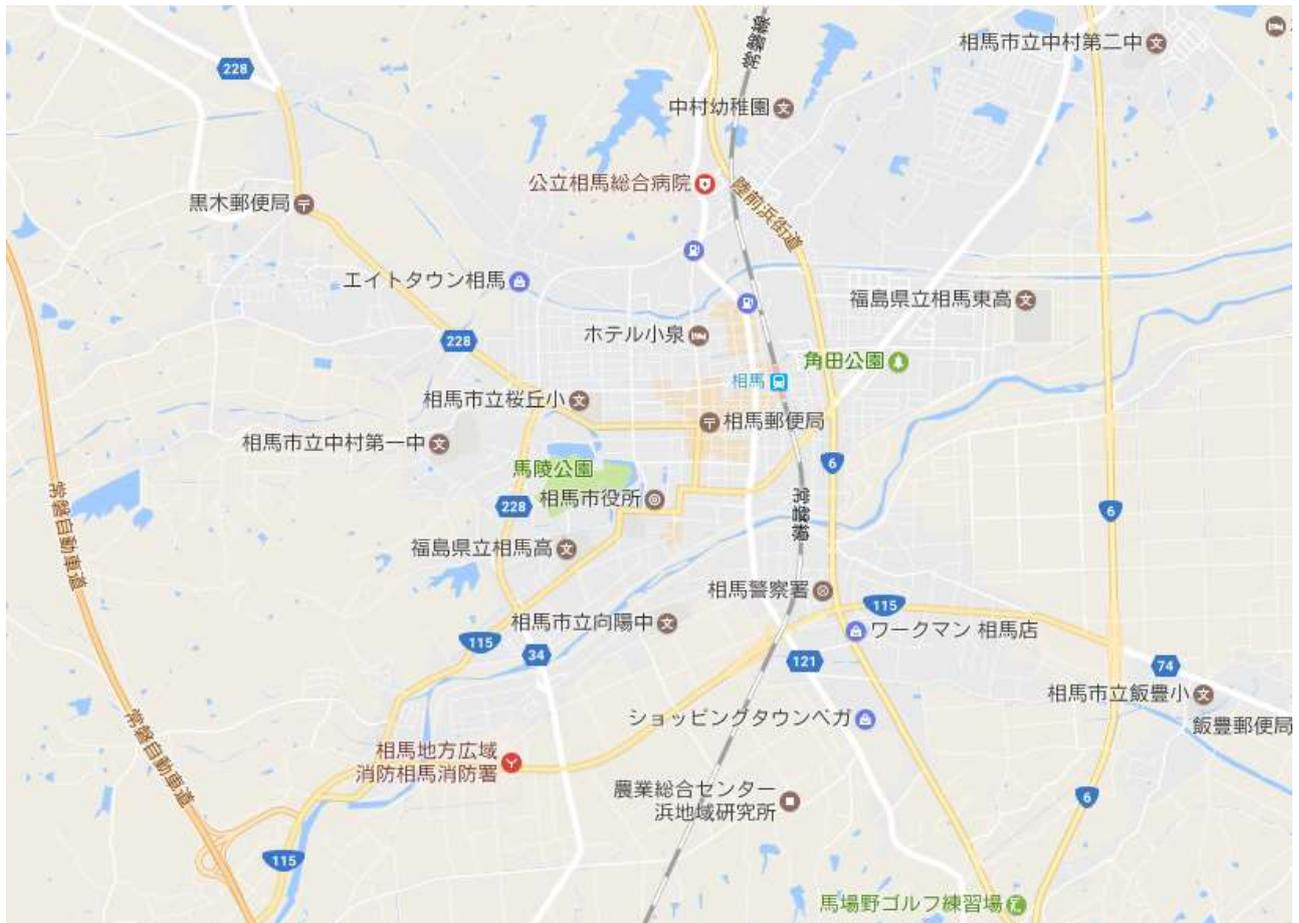
平成16年の医師法改正により、医学部を卒業し、医師免許を取得した医師（研修医）は、大学病院または厚生労働大臣が指定する病院で、卒後2年間、基本的な手技、知識を身につけるため初期研修を実施することが義務づけられました。

この厚生労働大臣が指定する、経験を積む、腕を磨く場を提供する病院が臨床研修病院です。

当院は、平成24年に臨床研修指定病院の指定を受けて以来、多数の研修医を受入れ、研修医教育に取り組んでおります。



相馬市内中心部地図



●●● 交通案内

■列車をご利用の場合

東京駅	東北新幹線	仙台駅	常磐線	相馬駅	車	当病院
	1時間40分		60分		5分	

■車をご利用の場合

仙台方面（仙台駅）	仙台南部道路長町IC～常磐道新地IC	当病院
	約60分	
福島方面(福島駅)	国道115号～東北中央自動車道霊山IC～相馬IC～国道115号	当病院
	約60分	
いわき方面(いわき駅)	常磐道いわき四倉IC～相馬IC	当病院
	約80分	

